

研究構想シート	学校名	浜田市立第三中学校
	氏名	荒田 眞智子
A 研究主題 確かな学力を身につけた生徒の育成～思考を深めるプロセスを通して～		
B 研究の目的 ・生徒の自己肯定感を育ててきた今までの土壌（教師の声かけ、生徒どうし・教師と生徒との関係づくり）を生かしつつ、表面上の好きより一段階進んだ、生徒の知的好奇心を高める授業づくりを目指す。		
C 子どもの実態 ・低学力 ・全国学力調査、県学力調査では平均を大きく下回る。 ・学校が好き ・親、友達、教員との関係は良好な生徒が多い。 ・その教科が好きといえる生徒の割合が約70% ・家庭学習時間が少ない。1時間未満の生徒が半数以上	E 手立て・内容（研究仮説） ・「自分ならできる」という手ごたえ（効力感）の高まりを図るために目標を持たせ、自己評価で捉える。 ・学習や学級活動でお互いのよさを認め合う活動を位置付け、自己有用感の高まりを貢献・承認・存在感を3つの要素で捉える。 ・疑問を持たせる発問「なぜだろう」「どう思う？」「どうしたらいい」やまとめさせる発問「要するに？」「例えばどういうこと？」などの思考を深めるプロセスを授業の中で効果的に取り入れる。	D めざす子どもの姿 ・教員の求める好きといえる生徒、その授業のねらいにそってわかる生徒の育成。 ・家庭学習の定着 ・宿題をやる生徒 ・自分の考えを持ち、授業に参加する生徒 ・疑問をもつ なぜだろう どう思う ・まとめる 要するに 例えばどういうこと
	F 検証方法 ・教員で授業改善の目標ごとにチームをつくり、実践する。（6チーム） 【（思考を深めるための）ICTの活用、対話、問いとの出会わせ方2、タクトのとり方、ワークシート】 ・各自で実践を記録しておく。 ・教員が意識している授業改善項目を入れた振り返りアンケート実施する。 ・全校生徒への授業アンケートの実施 （「〇〇の勉強は好きだ」「〇〇の授業の内容はよく分かる」の肯定的回答の割合80%以上をめざす（分かる喜び、達成感））	
	G 研究計画 1 学期 ・授業改善のための問題把握・実践したいことを各自で決め、同じ課題の教員でチームをつくる。 ・授業実践 ・夏休みに中間報告をチームで行う。 ・授業振り返りアンケート 2 学期 ・授業実践、推進、軌道修正 ・授業振り返りアンケート 3 学期 ・成果と課題実践報告、来年度に向けて ・授業振り返りアンケート	